

広報あがり

5

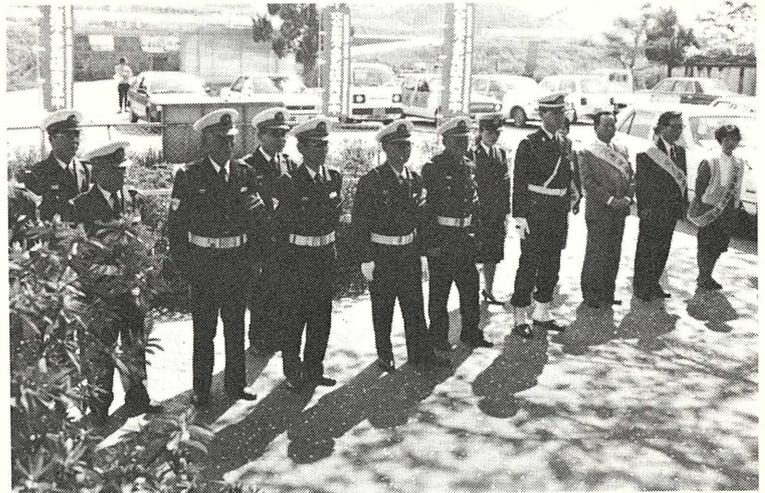
No. 328

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集/総務課文書広報係

☆町の人口 ☆人口 10,159 (-10) 男 4,821 (-5) 女 5,338 (-5) 世帯合計 3,438 (-11) 平成2年3月末日現在 ()は前月との比較です



日野町長より
黄色の傘を受ける、上野(左)
市場(右)両小学校の児童たち



▲町内パレード 役場前で行われた出発式



▲交通安全運動推進大会(田川署前)

交通安全

主役

はあなたです

四月六日から十五日まで『春の交通安全運動』の期間でした。この間、赤池町内の交通安全パレード(6日)、田川市で行われた、交通安全運動推進大会(10日)、田川交通安全協会赤池支部より交通安全を願って、上野、市場両小学校へ、交通安全傘五十本

の贈呈など、悲惨な交通事故を無くすための行事が行われました。交通ルール、マナーを守り、自分本位でなく、相手に対する思いやりの気持をもち、判断し、行動しましょう。交通安全の主役は、あなた自身なのですから!

『市場駅』開業式



▲招待されたお年寄りのみなさん

▲出発の合図をする一日駅長 立花杉夫さん

文字どおりの小春日和に恵まれた四月一日、平成筑豊鉄道の新駅『市場駅』が開業し、記念式典が駅のホームで行われました。

平成筑豊鉄道取締役あいさつ、日野町長、水永議長長の祝辞、市場地区を代表して、木村正史さん(八〇一)の謝辞と続き、この日のために飾りつけをした臨時列車の到着を待ちテープカット、一日駅長を務めて頂いた、立花杉夫さん(八〇二)の出発の合図で、招待されたお年寄りの方 百名が乗り込むこの列車は、直方駅まで往復しました。

われ、この駅の誕生を喜んでいました。

でもここで残念なお知らせがあります。それは、このできたばかりの市場駅に置いてある時計や整理券機を壊してしまった人がいます。何が楽しくてやっているのか分かりませんが、この駅を利用する人、みんなが使うものだという事は分っているはずで、こんな悪質なイタズラはすぐ辞めて下さい。

この駅は、数多くの人たちの願いと努力で誕生したものです。みんなの力で更に大きく育んでいきたいものです。

消防功労で長官表彰



世良さん 電谷さん

平成元年度消防功労者表彰で、赤池町消防団から、電谷徳光元第三分団分団長(伏原)と世良庄七第一分団分団長(堀田)が消防庁長官表彰の永年勤続功労章を受章しました。これは地域住民の消防に対する正しい知識の向上や、長年の消防活動が認められたものです。

図書館に本の寄贈

上野小学校

四月十二日(木)、福岡銀行金田支店より、上野小学校に十数万円相当の図書の寄贈がありました。

これは同銀行が、福岡県内の幼稚園、小・中学校に対して行っている文化事業の一つで、毎年五十校(園)を対象としています。今年度は上野小学校が、その一つになりました。

昨年は市場小学校にも寄贈を受けています。

又、上野の青柳不老園からも同じく寄贈を受けました。



▲金田支店長の野内秀典さんより、本を受けとる児童代表 児童代表 田中優子さん(左)と安武和人君

株マгнеテック 落成式

四月十日赤池工場団地に株マгнеテック(社長 和田敏哉)が茨城県のつくば市から進出し、工場の建設を終り地元関係者を招き落成式を行いました。

▼左より水永議長、日野町長、和田社長、山下総務常任委員長



▲ガッチリと握手 日野町長(左)と和田敏哉社長

は、中でも磁気応用機器の開発製造を行う計画で、磁気応用機器はモーターやトランス以外に治療用など、広く未開発分野が残されており、将来が有望視されています。従業員はパートを含めて十名位の計画になっています。

現在、赤池工場団地内には三信産業(建設機材リース業)、山縣組(運送業)が建物の建設を行っています。

詳しいお問合わせは役場産業振興課(企業誘致の担当)まで

議会だより



平成二年第四回四月臨時議会が四月十二日に開催されました。内容は次のとおりです。

◎専決処分承認↓地方税法を改正する法律が、平成二年三月三十日成立し、四月一日から施行されることに伴い、赤池町税条例の一部を改正する条例を、平成二年三月三十一日付で専決処分したので議事に報告し、承認を求めたものです。

◎道路の認定・変更↓道路の新設・改良に伴う路線の認定・変更を道路法の規定に基づき議会の議決を得ました。

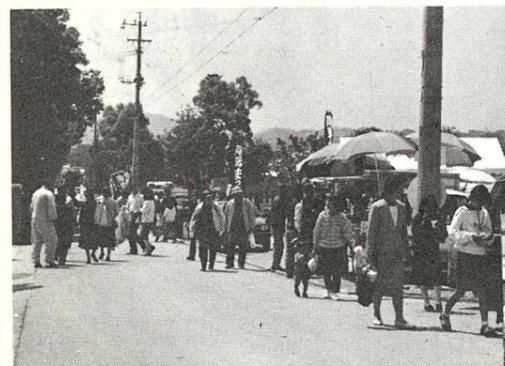
◎工事請負契約の締結↓平成二年度産炭地域開発就労事業及び特定地域開発就労事業で実施する工事の予定価格が三千万円を下らないため、議会の議決を得ました。

予防・相談・検診

- ◇ 麻しん
 - ・ 十八日(金) 町立病院
 - 13時30分～14時30分受付
 - 対象者 生後18ヶ月～36ヶ月児
- ◇ 三種混合
 - ・ 二十五日(金) 町民会館
 - 13時30分～14時30分受付
 - 対象者 生後12ヶ月～48ヶ月児
- ◇ ポリオ(小児マヒ)
 - ・ 三十日(木) 町民会館
 - 13時30分～14時30分受付
 - 対象者 生後3ヶ月～18ヶ月児
- ◇ 三歳児検診
 - ・ 三十一日(木) 町民会館
 - 13時30分～14時30分受付
 - 対象者 満三歳児

車は減って お客さん増えた

上野焼「陶器まつり」



▲上野陶器まつり風景

四月十三、十四、十五日の三日間、上野焼陶器まつりが開催されました。

初日の十三日、十四日は、寒さを感じる程の曇り空から雨も降り出す始末。カラッと晴れたのは十五日の日曜日。そのせいで、二日間はお客さんの出足も鈍かったのですが、日曜日一日だけでその分をカバーし、車の台数四千五百五十七台、

訪れた人一万一千百四人、昨年と比較すると、車で十二パーセントの減、人で一・七パーセントの増となりました。

来年は三日間連続で快晴になって欲しいものです。

囲碁大会 4月定例会

- ・ 焼山文明 (Aパート優勝)
- ・ 中村三郎 (Aパート2位)
- ・ 亀井晋作 (Bパート2位)
- ・ 斉藤 豊 (Dパート2位)
- ・ 馬場義男 (Eパート優勝)
- ・ 大迫 博 (Eパート2位)

出合い 喜び そして哀しみの中で (2)

肺結核のため、昔のままで死出の旅をされた、婦長さんに主任さん、そして先輩達は自分の病気を受容し、哀しみを秘め、身辺を整理し、蒼白な顔にほほえみを残し、宿舎を後に二十代半ばの若さで散ってゆきました。悲しい別離でした。

十二年間のプランクの中で鉱業所病院へ再就職した時は、日本は高度成長時代の波にのって、世の中は急激に変化してゆきました。

看護も昭和25年に完全看護が導入、昭和33年に基準看護が法正化され、患者中心の看護へと転換して、看護婦の労働条件、教育制度の改革、高度医療機器の導入と目覚ましい医療技術の進歩です。

そんな中で赤池町立病院の医師不足は深刻化し、病院存続が危ぶまれた時期もありました。

赤池町には医師の定着率が悪く、何度か医師不足を体験し、町長さん、議員さんの方々のなみなみならぬご苦勞が実り、医師充足に



3月31日退職された前婦長 赤池町立病院 藤田 春枝さん

えて、40床ベットが昨年四月60床へと増床になりました。これも町民の皆様のご支援のおかげで、今患者さんのトイレ増設の工事中です。

今、病院経営は財政危機にさらされ、存続が危ぶまれる中で、有能な先生方に恵まれ、最新の高度医療技術が取り入れられ、外科系、整形外科共、大きな手術も多く、患者さんからの信頼感も厚く、又看護部門では、これに対応する能力と資質技術の向上に力を入れ、先生方による院内学習、又院外研修に参加して院内活性化をはかり、活気に満ちています。

私達は公務員として、先ず奉仕的精神を謙虚に学ぶ姿勢、優しさと思いやりの心、愛と豊かな感性、人間性を持って、学びの中から、個々の潜在能力を發揮して、公務員としての倫理を踏まえ、患者さんに心から信頼できる看護婦に成長してほしいと、去るものもの願いとして、皆さんなら期待できると信じています。

私も看護婦責任として、看護の精神を踏まえ、謙虚な気持と誠実さを忘れず、大過なく、看護に命をかけ全とうできた喜びと看護職を選んだ最高の倅せと誇りを

しみじみ、かみしめています。

私なりに自分の立場を認識し、対応できる努力をしてきた、外部的栄養(頭と心を人工的に)は、何ごとにも興味をもち、自分の脳に関心を持ち、脳を健康に鍛え、人生を考えるということ

は、自分の脳について考えることであり、看護を通じて多くの方々、患者さん、或は同僚から日夜学ぶことが多かったと思っています。

私は看護婦として、町立病院で母を患者として看とることができたことを嬉しく思っています。親孝行が少しでも果たせたことが、せめて心ばかりの恩返しでした。母も貧しくて小学二年生で退校し、かたかなしか書けない母が、どんな字でも読むのを不思議に思っていたことがありました。書物や新聞にはかながついているので読める、かながつかない文字も読みきるとすましていました。

貧乏で汚いから級長には先生がしてくれんかったと言っていました。母のような優しくて忍耐強い女性にあらがれていました。母は時々喉が喉に詰まるともらすようにになりました。入院して胃透視をすると胃癌と診断され、手術は不可能で末期癌と知った時はショックでした。看護のプロであるが故に腹立ち

と自責の念にかられました。飯が喉に詰まると訴えたとき、何故食道透視をすすめなかったのかと残念でした。

胃部からの出血が続き貧血がひどく、輸血開始となり、輸血は体が温まるからいやと拒む母に血が少なくなる病気がから入れないと死ぬと言ったと納得しました。輸血することで病気が治ると信じ、そうすることがたのしみに変っていった。

癌告知が今、社会問題として大きく取りあげられています。私は肉親としてそれはむごくてできませんでした。

癌になったら死ぬと思ひこみ、癌でなくてよかったと、見舞客に喜んで話していました。癌の進行と共に病気が悪化し、子供達が昼夜交代で付添いました。

吐血下血が続く、ものが喉を通らなくなると「先生に頼んで血を入れて」と哀願し、最後まで生への執着は強く、希望も捨てきれず、三ヶ月間の看病を通して、腹いっぱいになり、甘えたり泣いたり恐ろしかったり、最後までボケなかった母も、終末期はオムツをはめた赤ちゃんに戻りました。近親者の看病にやすらぎを感じながら、薄れていく意識の中で母は何を求めていたのでしょうか。天国では父や兄が待ちあぐねてい

たでしょう、苦しみから解放され、八十六歳で永眠しました。

母の病例を通して思うには、病院では生か死か、喜びか哀しみかの明暗がはっきりしていて、哀しみはつねに喪失の体験によっておこり、別離と死は人生における避けがたい宿命であり、愛する者を失うという哀しみも又人間である以上一つの体験です。

私は定年という大きな節目に直面し、涙の込みついた町立病院に愛着を残し、別れ行く寂しさと喜びの交錯する中で本当に長い間微力な私を支えて下さった多くの方々、医療スタッフの皆さん、定年を待たずしてやめて行った親友達、ここに誌上をもちまして心から感謝し、厚くお礼を申し上げます。最後に私の愛するファミリー達よ、ありがとう。

*二ヶ月間に亘り、赤池町立病院前看護婦長のお話しを掲載しましたが、編集者も驚く程の反響がありました。これだけの量の原稿を載せたのは初めての試みでしたが、戦前戦後と力強く生きてこられた一人の女性の前向きな姿勢に、共鳴されたところもあったのではと考えています。又機会があれば、様々な取り組みをしていきたいと思ひます。藤田春枝さん ありがとうごさいました。

ありがとうございました

(順不同・敬称略)

赤池町社会福祉協議会

※三月十七日～四月十八日

- 【香典返し】 藤井登志喜(稲荷町)
- 安延孝(上小路) ○熊谷君晴(下小路) ○山末年丸(岩屋組) ○木村廣子(西町) 以上五件で総額は十五万円です。
- 武末建吉(石松) 座布団カバー百枚

【寄附】 桑野組(桑野勝正) 二百万円 ○下田川ライオンズクラブ 六十万円 ○九光石油 五十万円 ○正栄自動車整備工場 五十万円 ○民謡中村会 一万円 ○匿名の方八名 一万五千元

【特別賛助会費】 (企業・法人) 一口二万円 田中歯科医院 三口 ○のりたけ食品 一口 ○侑松本商店 一口 ○上村医院 一口 ○侑筑豊天國社 一口 ○庚申堂 一口 ○侑久富建設 一口 ○アワヤ呉服店 二口 ○中辰組 二口 ○侑赤池商事 一口 ○柳津田商事 一口 ○藤井酒店 一口 ○藤村商店 一口

【賛助会費】 (個人・一般) 一口千円 森本エイ子 五口 ○沢永孝 美 一口 ○大藪久光 十口 ○太田正英 十口 ○竹井佑介 三口 ○太

5月福祉センターの行事

【休館日】 3日、4日、5日、6日、7日、14日、20日、21日、28日	【仏教講演会】 15日、午前11時～
【バス運着日】 毎日運行	【心配ごと相談日】 8日、17日、27日
【演芸】 入館者へ自由に舞台を提供します。	【健康相談日】 第2火曜日、8日(火)
※ゲートボール場も自由にご利用ください。	【健康講演会】 9日、午前11時～



洋灯と行灯と提灯と

鈴 夢

「ランプ」—明治の世に生まれた私にとって何と懐しい呼び名であることか。

安政六年(一八五九年)新潟県長岡の鈴木鉄蔵と言う人が、横浜の「スネール」と言う外国人から買求め、これに点火したのが始めてだと言う。江戸末期、神奈川、長崎、箱館(函館)の開港と共に欧米から前後して輸入され、明治五年(一八七二年)頃には国産の「ランプ」も製造市販され、明治三十年(一八九七年)代には「ピク」に達し全国的に普及し、室内照明具は和風の行灯から洋風の「ランプ」へと大きく様変わりを見せた。私が生まれた時には既に「ランプ」であり、行灯との明るさの比較は知らないが、屹度行灯よりは幾層倍も明るく、洋風への憧れと相俟って急速に家庭に普及して行ったのであろう。

所定の金属製の枠の最下部に石油を入れる「ガラス」製の壺、それに綿糸製の平芯とこれを出し入れする調整装置の歯車を組み込んだ真鍮製の口金を取り付け、下膨れの筒筒形のガラス製の火屋を乗せ、最上部にはこれもガラス製の乳白色円形平型の「かさ」之が一般家庭にて用いられている釣り「ランプ」の大凡の「スタイル」である。

この外に台「ランプ」、平「ランプ」、「豆」ランプ、「両芯」ランプ等あるとのことだが、悲しいかな現物にお目にかかったことがない。吾が家では私が未だ幼い所もあってか、四ツ年嵩の兄が清掃係であった。襦袢切れで火屋の煤を掃く度に、手を真黒にしていたことを、今でも微かに覚えている。釣り「ランプ」は持ち回りには不便であり、部屋数の多い屋敷内の広い質屋の祖父の家では、昔ながらの平燭や籠灯(強盗提灯とも言う)が相変わらず巾を利かせていた。田舎の夜は町場より特に暗く、夜戸出に提灯は欠かせない照明具であり、懐中電灯が出現するまでは健在であった。

祖父の家の座敷の控の間の長押しには「違い鷹の羽」の定紋入りの提灯の格納箱が四ヶ、私が小学校の三年生頃まで見掛けたが、其の後故郷を捨てた私には知る由もない。火の消えた提灯を片手に暗闇の往還を自転車で行くまで用達しに行く途中「自転車無灯火」で警官に咎められ、散々に油を搾られた青年の日の提灯に纏わる出来事も懐かしい思い出の一齣である。

藤柵の下で

板屋団地 前田 孝子

三年前、脳硬塞で倒れ入院中の主人の食事も済み、汚れた食品を所定の位置に戻し、弁当は持って

来たけど今日は主人も機嫌がいいし、方城町の財産とも言われる病院と真向いのお寺に行つて、庭のどこかに腰を下ろして食事をしようと思ひ行くと、一分程開いた藤の花が、看病に家事に疲れた私の気持ちを慰めてくれた。「おむすび」の一個目を箸にはさんだ時、私の後の硝子戸が開き、三十半ばの奥さんが三歳位の女の子を背負い、私の方へ歩いてこられた。弁当を持ったまま立ち上り、勝手に入り込んだ事を詫言る私に会釈なさり「いいですよ、ごゆっくり」といつてくれた。

私が登って来たのは反対から若い僧侶が帰って来た。「すみません」と言うのに、にこにこして「後に机も有りますよ。ごゆっくり」言ってくれた。三日月のおむすびを食べ終えた時うぐいすの声を聞き、何故か別世界のように思えた。時計は十二時を指していた。寺を出て迫の方へ向う時「カモメの水兵さん」のメロディーが流れて来た。遠い日が脳裏をよぎり、たまらなくなつたしくなり、つい口ずさんだ。藤柵の下で宴会に又、出店とかでにぎわう日も、真近

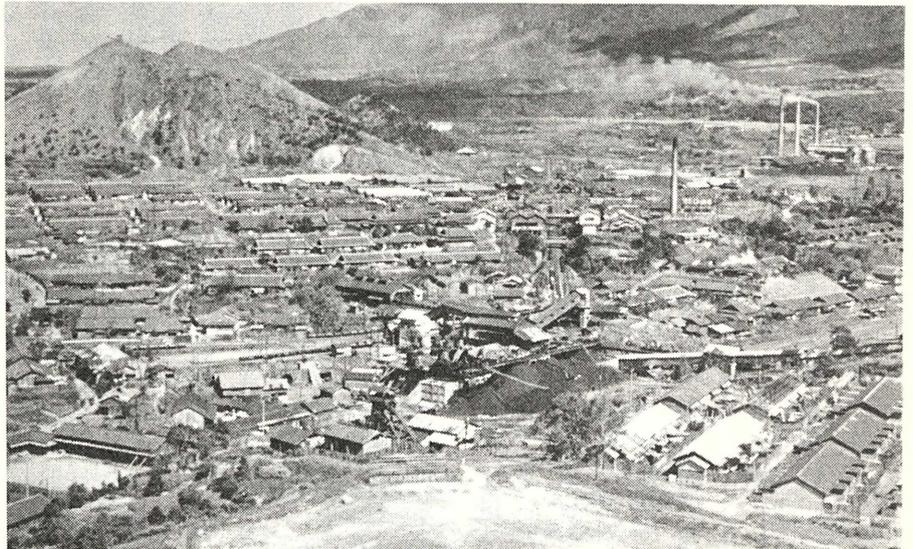
である。川辺ではつり糸を垂れている若者がいて、今を盛りと咲き誇る菜の花に蝶が舞う。何と素晴らしいことか。この平和がいっまでも続いてほしいと思ひつつ、家路を急いだ。

情報を集めています

鎮魂碑

旧赤池炭坑

◀再建準備委員会発足▶



▲全盛期だった頃の「赤池炭坑」(新ボタ山より)

明治時代から昭和三十年代のエ
ネルギー革命による、石炭産業の
衰退まで、赤池町の産業基盤を支
えていた「赤池炭坑」

赤池町史によれば、明治三十三
年から昭和四十年までの間、炭坑
の落盤やガス爆発などで殉職され
た方は五百十七人。

この方たちの霊を慰さるるため、
又赤池炭坑の歴史を永遠に残して
いくために「旧赤池炭坑殉職者

鎮魂碑再建準備委員会」が、炭坑
に深く関わったことのある人たち
五人(清原義則会長)の方たちで
発足しました。

この委員会では、伏原地区に、
三十年程前までにあった『鎮魂碑』
を再建しようと資料を集めていま
す。この碑にまつわる写真や、資
料などお持ちの方、ぜひご一報下
さい。

☎ 28-23309 (清原義則)

年金係よりお知らせ

老齢福祉年金、障害基礎年金
(二十歳前の傷病による場合)及び
福祉年金を引き継いだ障害、遺族
基礎年金を受けている方は、他に
厚生年金、共済年金、恩給等を受
けていたり、受けられるようになっ
たときは、国民年金係へ必ず届出
をしなければなりません。

年金の費用は、国が全額負担し
ているので、他の公的年金と重視
して受けるような場合には、支払
いの調整を行うこととされている
ためです。
もし、届出が遅れたりすると、
余分に受けた年金をお返しいた
くこととなりますので、十分ご注
意下さい。

水防はみんなの手で

5月は水防月間です

五月は水防月間です。これは、
水害から生命や財産を守るために
は、河川工事とともに、水防活動
が非常に重要であることを住民の
みなさんに理解していただき、水
防活動への協力をお願いするため
に設けられたものです。

と地元住民が中心になって行なわ
れるものです。河川工事と水防活
動は、水害を防ぐための車の両輪
です。地元の皆様のご理解とご
協力をよろしく願います。
なお、水防月間中(五月一日〜
三十一日)に国(建設省)、県、
水防管理団体(市町村)は梅雨期、
台風期に備えて河川の危険箇所な
どの合同巡視を行います。

しかしながら、河川の改修には
長期間を要することや、長崎水害
のような異常な大雨の可能性もあ
ることから、水害に対して絶対安
全ということはありません。

そこで重要なのが水防活動です。
水防活動は本来的には地元市町村

建設省遠賀川工事事務所

室集編

♪柱のキズはおと
しの五月五日の背くら
べ……と童謡「背くら
べ」に歌われる「子供
の日」。

私の誕生日とは全く
関係なく、この日から
十一月までは「児童福祉月間」で
す。今年のテーマは「地球、ステ
ジ、主役は子供」

でもせめて家庭の主役は、親で
あり、保護者でありたいものです。
勿論子供にも人格があります、
大人たちの人格の方が優先すべ
きだと考えます。頑固でわからず屋
の私を取り巻く人たちの私への評
価です。私はただウンウンとうな
ずいています。
こんな自分を大切にしたいなと
思いながら。

新築県営住宅入居者募集

- ▶ 団地名=城山
- ▶ 場所=田川市伊加利
- ▶ 種別 ①種=6・6・6・DK
②種=6・6・4.5・DK
- ▶ 申込書配布・受付期間
5月1日~14日
- ▶ 申込場所=最寄りの土木事務所
役場住宅課に申込用紙が有ります。